

4 指導資料

- 指導実践で用いた指導資料の一部を掲載します。
紙面の都合で、記入欄などを縮めています。各調査紙やワークシートの大きさ、レイアウト等は適宜変更してご使用ください。

1年-1 「中学生になって」

学級みんなに自分を分かってもらおう！

4月 日 () の 時間 目に、下の「自己紹介カード」を使って、自己紹介をしてもらいます。わかりやすく、そして楽しい紹介となるように工夫してみてください。

紹介後は、このカードは集めて、学年全員分をまとめて印刷し冊子にする予定です。そこで、記入にあたっては濃い目の鉛筆か黒いペンを使用してください。

このわくの中に
自画像を描く→



自己紹介カード

氏名 ()
ふりがな ()

平成 年 月 日 生まれ

血液型 () 型

「自己紹介カード」に書かせる項目については各学校・学年の先生がアイデアを出し合い工夫する。

冊子にしてまとめる他に、拡大して学級や廊下の掲示板上に掲示するなどの工夫も考えられる。

1. 好きなことば、食べ物、色、スポーツ、遊び、動植物など
2. 私をこう呼んでください（ニックネーム）
3. 私の長所・特徴
4. 趣味や特技など
5. ○中学生になっての抱負・希望（頑張りたい教科や活動など）

1年-4 「学級目標を決めよう」

学級目標を考えよう

こんな学級がいい！

第1学年

1年 組 番・氏名

1. ○○中学校でのこの1年、私は、このようでありたい！

[生活の面では]

[学習の面では]

[行事に対しては]

2. 1番のことを達成するために、

[私の学級は、このようであってほしい！]

[学級目標の案は]

4月 日 () の朝、担任の先生に提出を！

【活用上の工夫】

- ◎ 提出を受けた後、全員の願いや意見を箇条書きで集計し、学級目標作りの前に配付する。その資料をよく読んでおいて学級目標作りの話し合いに臨むように指示する。
- ◎ 全員の願いや意見の集計結果や、話し合いの後で決定した学級目標などは、学級通信（学年通信）を利用して、家庭にも知らせる。
- ◎ 場合によっては、父母の願いや意見を書いていただく蘭を設け、それも踏まえて学級目標を考える。

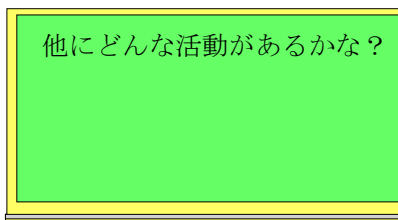
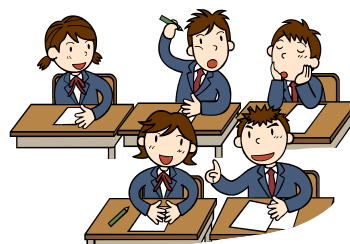
〇〇中 **班活動について** 年/月/日

各学級とも組織が決まり、本格的な学級の活動が始まろうとしています。さて、第1学年では、班の活動(班活)を熱心に行いながら、学級全体・学年全体の活動を活発にしていく仕組みを作ろうと考えています。

下に示すのは、各班の活動のうち、これだけはやってほしい内容です。これらの他に、各班で独自に考えた活動を盛り込んで、班活動活発にいきましょう。

〇中に新たな「〇〇〇」を！
築こう！ 私達の手で〇中黄金時代を！

- ◆ **レク班** — 学級の心の面での向上を図る班
 - * 学級レクの企画・実施
 - * 毎日の学級合唱の向上のための企画・指導
 - * 新曲への取り組み(選曲・楽譜・掲示用の歌詞の用意など)
 - * 合唱交歓会(他の学級との交流会)の企画・実施
- ◆ **生活班** — 学級や自分達の生活の向上を図る班
 - * 「学習・生活記録ノート」の集配
 - * チャイム着席の推進、遅刻や居残りをなくそう運動
 - * きまり(服装・持ち物など)の徹底
 - * 教室内の生活の指導・呼びかけ
 - * あいさつをしっかりとやろう運動
- ◆ **学習班** — 学級の学習の良い雰囲気作りをする班
 - * 朝読書をしっかりと行おう運動
 - * 学習クラスマッチの取り組み向上運動と採点
 - * 授業態度の向上を目指す活動
 - * 忘れ物をなくそう運動
 - * 発言を頑張ろう運動
- ◆ **広報班** — 情報を正確かつ迅速に伝える班
 - * 学級新聞の発行(最低月に1回)
 - * 他の学級や学校の新聞の整理・掲示
 - * 各班の「班だより」の作成の呼びかけ
 - * 学級の掲示物の整備と補修
- ◆ **保健班** — 学級の健康と安全面を担当する班
 - * 病人やけが人の世話
 - * 給食の準備や後片付けの指導・呼びかけ
 - * 牛乳を残さず飲もう運動
 - * 学級の窓開け・窓閉め(換気)
- ◆ **美化班** — 学級の生活環境を整える班
 - * 学級の財産(マジック・テープ・のりなど)の管理と整理
 - * 花や植物の世話
 - * 学級の本棚の整理
 - * 清掃活動向上運動の推進と点検
 - * 正面黒板の管理(黒板消し・チョーク補充)



班の活動計画を立てよう！

1年 組 班

1. 班の目標 (学級をどのようにしていこうと考えるか)

2. 活動の重点 (簡条書でよい)

3. 具体的な活動内容 (どんな活動を、いつ、どのように行うか)

4. 班のメンバー (◎: 班長、○: 副班長)

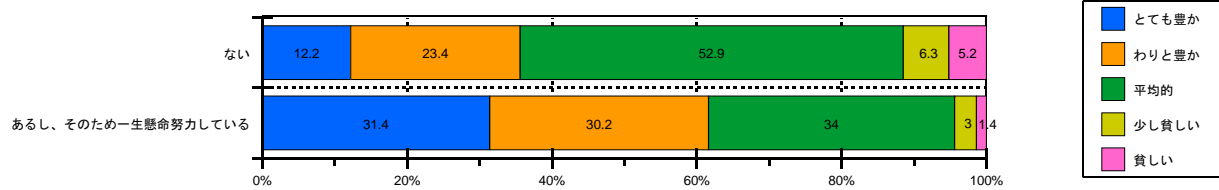
◎ _____	○ _____	. _____
. _____	. _____	. _____

1年-14 「私達の将来の希望・その1」

将来の夢と実現のための努力（クロス集計）

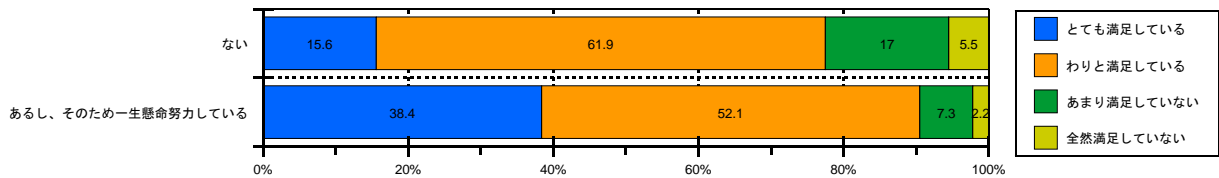
①将来の暮らし向き×将来つきたい仕事・夢の有無

	とても豊か	わりと豊か	平均的	少し貧しい	貧しい
ない	12.2	23.4	52.9	6.3	5.2
あるし、そのため一生懸命努力している	31.4	30.2	34.0	3.0	1.4



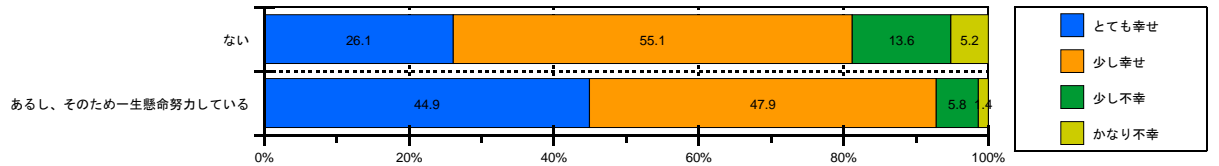
②将来の生活の満足度×将来つきたい仕事・夢の有無

	とても満足している	わりと満足している	あまり満足していない	全然満足していない
ない	15.6	61.9	17.0	5.5
あるし、そのため一生懸命努力している	38.4	52.1	7.3	2.2



③今と比べて将来は幸せか×将来つきたい仕事・夢の有無

	とても幸せ	少し幸せ	少し不幸	かなり不幸
ない	26.1	55.1	13.6	5.2
あるし、そのため一生懸命努力している	44.9	47.9	5.8	1.4



④自己評価×生来つきたい仕事・夢の有無

	あるし、そのため一生懸命努力している	ない
異性に好まれる	22.0	12.3
クラスの人気者	24.0	13.3
成績がよい	26.0	21.3
よく勉強している	30.2	14.6
運動神経がすぐれている	47.0	28.9
仲間から信頼されている	47.2	33.2
友だちがたくさんいる	70.6	50.7
親とうまくいっている	73.8	57.0

(注) 数字は「とても」+「少し」そう思う割合 >は差が5%以上

①～④とも出典は、
「モノグラフ 中学生の世界」
Vol. 58 中学生の人生観
ベネッセ教育研究所 1997年

イチロー選手の小学校6年生の時の夢

※生徒には、誰の作文かを明かさずに提示し、読後に教える。

「僕の夢は、一流のプロ野球選手になることです。そのためには、中学、高校で全国大会へ出て、活躍しなければなりません。活躍できるようになるためには、練習が必要です。ぼくは、その練習にはじしんがあります。ぼくは3歳の時から練習を始めています。3歳～7歳までは半年位やっていたんですが、三年生の時から今までは、365日中、360日は、はげしい練習をやっています。だから一週間中、友達と遊べる時間は、5時間～6時間の間です。そんなに、練習をやっているんだから、必ずプロ野球の選手になれると思います。そして、中学、高校でも活躍して高校を卒業してからプロに入団するつもりです。そしてその球団は中日ドラゴンズか、西武ライオンズが夢です。ドラフト入団で契約金は、一億円以上が目標です。ぼくが自信があるのは、投手と打げきです。昨年の夏ぼくたちは、全国大会へきました。そしてほとんどの投手を見てきましたが、自分が大会ナンバー1投手とかくしんできるほどです。
打げきでは、県大会、4試合のうちに、ホームランを3本打ちました。そして、全体を通した打りつは、5割8歩3りんでした。このように、自分でもなっとくいくせいせきでした。そして、ぼくたちは、1年間負け知らずで野球ができました。だからこの調子で、これからもがんばります。そして、ぼくが一流の選手になって試合にでれるようになったら、お世話になった人に、招待券をくばって、おうえんしてもらおうのも夢の1つです。とにかく一番大きな夢はプロ野球選手になることです。」(原文のまま)

1年-27 「人と個性」

事前調査

「家族から見た私」

- 1 私のよいところ
- 2 私の直してほしいところ
- 3 将来のこと（期待していること）
- 4 その他

「インスピレーション・クイズ」

※友達と相談しないで、自分の考えを正直に書きましょう。

- 1 私の将来の夢は、
- 2 自分の性格を一言で言うと、
- 3 今、興味をもっていることは、
- 4 友達によく言われることは、

授業で用いる資料

「〇〇さんのよいところ」 ※ワークシートに貼り付けやすいように、付箋紙を利用してもよい。

() さんへ
 私は、あなたのこんな点が素晴らしいと思っています。

※性格、行動や態度、学習、運動や技能、特技や趣味など、よい点だけを書いてください。

授業ワークシート

【自分の特色についてのまとめ】

	自分自身での振り返りから	諸検査や実体験から	周りの人(家族、友人、先生)の意見から
行動や性格			
学習への興味関心・成績			
身体や運動能力			
趣味・特技			
仕事への興味関心			
進路の希望			
家族の希望や考え			
その他			

【本時の活動の感想】

1年-28 「自分の特色、友達のよさ」

授業で用いる資料

学習ワークシート

【この職業にはどんな個性をもった人が適しているでしょうか】

警察官	
看護師	

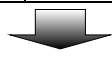
【自分の希望する職業に求められる能力や適性と、今後の努力点】

自分の希望する職業名	希望する職業に求められる能力や適性	今後の努力点（自分の個性と、求められる能力や適性を比較して）

【ジョハリの「心の4つの窓」で自分の個性をより深く知ろう】

※先生の説明を聞いた後、実際に下の各「窓」に書き入れてみましょう。箇条書きにすると見やすいと思いますよ。

秘密の窓	・自分は書いていて、他の人は書いていなかった面	開かれた窓	・自分も、他の人も書いていた面
暗黒の窓		盲点の窓	・自分は書いていなかったが、他の人は書いていた面



【「開かれた窓」を大きくし、将来の希望の実現を目指すために具体的にどうしていくか】

※班の中で話し合い、班員からもらったアドバイスをメモし、決意を固めよう。

	具体的な方策（何を、どのようにしていくか）
改善や努力をしていくこと	
いっそう伸ばしていくこと	

3年-19 「自分を見つめ直す」

3年 組 番・氏名 _____

I 「自分についてのまとめ」

自分の進路を最終的に決定していく学期を迎えました。自分自身を正しく知ることが、進路選択の基本であることを理解し、現時点で自分についてのまとめをして、進路選択に役立てましょう。

- 1 自分の行動の傾向や性格について、次のような観点から自己評価し、特色をまとめてみましょう。それぞれの評価の観点に対して、「はい」「どちらともいえない」「いいえ」の3段階で評価し、○を付けます。

評 価 の 観 点	評 価
1 自分の都合が悪くても係の仕事や約束などを優先させるほうである。	はい いいえ
2 自分の考えは、学級や委員会などではっきり主張できるほうである。	_ _ _
3 先生や親からの注意は素直に聞いて、きちんと改めるほうである。	_ _ _
4 みんなを指導すべき立場になったとき、しっかり指導できるほうである。	_ _ _
5 失敗してもよくよせず、すぐ立ち直るほうである。	_ _ _
6 学校や学級で行う行事などにすすんで参加するほうである。	_ _ _
7 すぐ怒ったり、人に当たったりはしないほうである。	_ _ _
8 学級の仕事や清掃を人が見ていなくてもきちんとするほうである。	_ _ _
9 部活動で厳しい練習にたえるなど、忍耐強いほうである。	_ _ _
10 何ごとにも細かいことまで考え、よく気を配るほうである。	_ _ _
自分の特色	

- 2 今、自分で考えている将来の仕事について、次のような観点から自己評価し、上の1番でまとめた自分の特色も考えに入れて、適している点をまとめてみましょう。それぞれの評価の観点に対して、「A、どちらともいえない、B」の3段階で評価し、○を付けます。

A	B	評 価
1 多くの人と協力してする仕事	一人でする仕事	A B
2 主として精神的な仕事	主として肉体的な仕事	_ _ _
3 多くの人と話したり交渉したりする仕事	物を相手にする仕事	_ _ _
4 毎日同じことを繰り返す仕事	毎日変化のある仕事	_ _ _
5 時間が決まっている仕事	時間的に自由のある仕事	_ _ _
6 高度な技術や特別な能力を要する仕事	単純な仕事	_ _ _
7 特別な資格や免許を必要とする仕事	資格や免許のいらぬ仕事	_ _ _
第1希望の仕事 () 適している点	第2希望の仕事 () 適している点	

- 3 自分が興味を持っている教科や自分の特技を書いてみよう。

興味を持っている教科	特技
------------	----

II 「自分の成長点・努力すべき点」

- 1 1・2年生の時と比べて、成長した点や、今後も努力が必要な点について、次の観点に沿ってまとめてみよう。

観 点	成 長 し た 点	努 力 が 必 要 な 点
自分の性格・言動		
仕事への興味と適性		
学習の状況		
身体の状態 運動能力		

- 2 以上のとおりに自分を見つめ直したことを総合して、自分の希望する進路について、自分が適していると思われる点や、今現在不安に思う点をまとめてみよう。

観 点	希望する仕事の名前 ()	希望する上級学校の名前 ()
適していると思われる点	Iの2で書いている人は省略可。	
不安に思う点		

進路学習ワークシート 学習の課題や悩みの解決 「学習資料」 3B・氏名

1 「学習に関する不安や悩み」事前アンケート結果 (マル1つで1人。●：男子/◎：女子)

1	家庭での勉強に集中できない	●●●●●●◎◎◎◎◎◎ (6/6)
2	勉強時間が確保できない	●●●◎◎◎
3	勉強方法が分からない	●●●●●●◎◎◎◎◎◎◎◎ (7/8)
4	すぐに飽きてしまう	●●●●●●●●◎◎◎◎ (9/5)
5	みんながどれ位勉強しているのか気になる	●●●●◎◎◎◎◎ (5/5)
6	適当な問題集や参考書がない	●◎◎◎
7	授業中集中できない	●●●●◎◎
8	やる気が起こらない	●●●●●●●◎◎◎◎ (8/4)
9	苦手教科があって克服できないでいる	●●●●●●●●◎◎◎◎◎◎ (10/8)
10	授業についていけない	●◎
11	分からない点を教わる相手がいない	●
12	その他 (具体的に)	●● 手遅れかどうか、参考書の内容/先生の言っていることが時々分からない

2 「苦手意識を取りのぞこう」

先生 さてA君、きみはとくに数学が苦手だったね。
A君 そうですよ。でも、九九ぐらいは完ぺきですよ (笑)。
先生 A君が数学の勉強をしたくないのは、結局のところ、これまでの勉強でわからないところがそのままになっているからではないのかな。
A君 そのとおりです。ぼくだって、わかるときの授業にはついていけるし、ちゃんと理解できたときなんかは、勉強していても楽しいですよ。



でも、どこまでがわかっていて、どこからがわからないのか、それがよくわからないんです。あれ、なんだか混乱してきちゃった。
Bさん 私が苦手にしてる理科についても、まったく同じかもしれません。
先生 さっきいった悪循環を断ち切るには、それが先決だよ。なぜ、その教科が不得意なのか、原因をきちんとつきとめないことには、穴のあいたバケツにいくら水を入れようとしても、その穴をふさがないかぎり、水はたまらないのだから。

A君 そうか。でもいつごろから数学が苦手になってしまったのかな。たしか1年生のときには、そんなに不得意ではなかったはずだけど。今度ひまを見つけて、1・2年生のときの教科書をチェックしてみようかな。たぶん、どこからわからなくなったのか、わかると思います。

Bさん 私は理科のなかでも、OだのHだのCだのっていう記号が出てくると、もうぜんぜんだめです。

先生 ところで、Bさんは英語が得意だけど、そうなったのには何かきっかけがあったの。

Bさん 将来、海外の学校に留学したいという希望があるので、自分なりに英語はがんばったつもりなんです。

A君 ぼくだって将来はサッカーの選手になりたいから、体育は一生けんめいがんばっているし、成績もいいよ。

先生 そんなふうに分の将来に結びつけてみると、勉強する姿勢も違ってくるよね。それと得意とか不得意とかいうのは、ちょっとしたきっかけによることも多いんだ。

A君 ぼくはマンガ雑誌に連載されている時代劇が好きなので、それで歴史はわりと得意になったんです。数学ものの連載もあると、ひょっとして好きになれるかもしれません。

それだと、簡単に数学も得意科目になっていいのにな。

Bさん 私も理科に興味を持てるように、何かきっかけを探してみようかな。先生、何かヒントはありませんか。

先生 たとえば、みんなが好きなゲームの話でいえば、攻略法の裏技と同じで、自分でつかんだコツは絶対に忘れないからね。自分でそのコツをつかむふうをしてみることもだね。



【作業】上の資料を読んで、苦手意識を取りのぞくための方法を班で話し合い、3つにまとめよう。

①
②
③

進路学習ワークシート 学習の課題や悩みの解決 「相談用紙」

おもてめん
【表面】

*裏面の□（四角）の中に、あなただけが分かる印や記号を記入してください。

1 「家庭での学習の取り組み状況」を振り返り、また、学習上の不安や悩みを書きましょう。

(1) 今までの家庭での学習について、自分の取り組み状況を振り返ってみましょう。

1 計画を立てて勉強している	(している)	4	3	2	1 (していない)
2 計画どおりに勉強できている		4	3	2	1
3 教科書などの復習をしている		4	3	2	1
4 要点などをノートにまとめている		4	3	2	1
5 問題集などをしっかりと解いている		4	3	2	1
6 単語や漢字練習などは書きながら覚えようとしている		4	3	2	1
7 分からない点や理解できない点は友達や先生などに聞いて解決している		4	3	2	1

(2) 現在抱えている学習上の不安や悩みを書きましょう。

*表（この面）が見えないように、二つ折りにして、前の箱に入れてください。

2 「家庭での学習の取り組み状況」や学習上の不安や悩みに対するアドバイスや励まし(カウンセラー) → 1番に記されている学習の取り組み状況や不安や悩みに対して、アドバイスや励ましを考え、記入してください。

*表（この面）が見えないように、二つ折りにして、前の箱に入れてください。

3 この活動の内容についての感想、クライアントやカウンセラーを経験した気持ち、2番のアドバイスや励ましを読んだ上での素直な気持ちなど、自分の思いをまとめてください。

氏名 _____

【裏面】



【事前アンケート】 「学習に関する不安や悩み」

あなたが今、学習に関することで不安に思ったり悩んだりしていることはどんなことですか。該当する番号を○で囲んでください。(複数回答可)

1 家庭での勉強に集中できない	7 授業中集中できない
2 勉強時間が確保できない	8 やる気が起こらない
3 勉強方法が分からない	9 苦手教科があって克服できないでいる
4 すぐに飽きてしまう	10 授業についていけない
5 みんながどれ位勉強しているのか気になる	11 分からない点を教わる相手がいない
6 適当な問題集や参考書がない	12 その他(具体的に _____)

参考資料

網掛けのしてある「活動内容の例」が、ガイダンスの機能を生かすことができると考えた題材。以下、113頁まで同じ。
 中学校学習指導要領（平成10年12月）解説－特別活動編－ pp. 32-54を基に作成

◎ 学習指導要領に示された学級活動の活動内容例とガイダンスの機能を生かす題材とのかかわりの一覧表

活動内容	活動内容の例	活動のねらい	具体的な問題例 (題材例)	解決策や指導の方法	指導上の留意点
学級や学校の生活の充実と向上に関する事	1 学級や学校における生活上の諸問題の解決	① 生活全般についての適応を図る	<ul style="list-style-type: none"> 入学や進級、学級編成替え、転入・転出などの際に生じる人間関係などの諸問題 生徒会の委員会や学校における様々な集団への所属とその後の適応に関する問題 	<ul style="list-style-type: none"> →入学や進級の際のオリエンテーション →個別指導やグループ指導 →学級成員の親睦を深める活動の場や機会の設定 	
		② 集団生活としての学級や学校の生活の充実と向上を図る	<ul style="list-style-type: none"> 様々な問題を出し合って解決したり、役割分担し合って処理する活動 	→組織や係が、生徒会活動と連携して自発的、自治的な活動を推進	*いじめ、暴力、差別、偏見には、学級活動だけでなく、生徒会活動などでも適切に取り上げ、学校全体で解決に取り組む
		③ 集団生活の進め方にかかわる諸問題への対応とその解決を図る	<ul style="list-style-type: none"> 生徒会活動や学校行事への参加や協力の問題 組織や係活動の円滑な運営に伴う問題 学級の環境整備に関する問題 	→グループや全体での話し合いや討論などで解決	
学級内の組織づくりや仕事の分担処理	2	① 学級の成員すべてが互いの個性を尊重しながら、何らかの役割を分担して協力し合う	<ul style="list-style-type: none"> 学級の目標や組織づくり 仕事の役割分担やルール 学級生活の充実のための工夫 	→グループや全体で話し合う	*学級の全員が、自己の役割に対する責任と喜びを感じ、よりよい学級にするため様々な創意工夫ができるようにする
	3	① 学級や学校生活への適応を図る ② 積極的に多様な集団へ参加し自主的、実践的な活動を進めることへの指導・援助を行う	<ul style="list-style-type: none"> 生徒会活動や学校行事への参加や協力 多様な集団と活動の在り方 集団生活のマナーとルール 	<ul style="list-style-type: none"> →上級生などの経験等も活用したガイダンス →生徒相互の話し合いや体験発表 →地域の文化・スポーツ団体やボランティア団体の人々を招いての講話 	
	学校における多様な集団の生活の向上				
個人及び社会の一員としての在り方・健康や安全に関する事	1 青年期の不安や悩みとその解決	① 青年期の心理、心身の発達の特徴やそれに伴う悩み、発達課題などに対する理解を深めさせる ② 題材の設定を工夫し、不安や悩みを率直に語り合えるようにする ③ 人生における青年期の意義（青年期特有の問題を乗り越えることで人間として成長する）を理解させる	<ul style="list-style-type: none"> 自分が不安に感じること、悩みとその解決方法 青年期の理解に関すること 自分の身近な人の青年時代 	<ul style="list-style-type: none"> →ブレインストーミングのように生徒が自由に話し合う →資料を調べる →先輩や身近な大人にインタビューして発表したり話し合ったりする 	
	2 自己及び他者の個性の理解と尊重	① 卒業までの期間を見通して系統的、発展的な指導を行い、自己の個性をより正しく理解させる ② 他者への思いやりを深め、共に生きる人間としての心の豊かさをもって成長していくようにさせる	<ul style="list-style-type: none"> 自分の長所・短所 友人への期待と励まし 個性を生かす方法 	<ul style="list-style-type: none"> →グループや学級全体で話し合う →諸検査の実施や教育相談の手法を活用する →卒業生や社会人などの講話を通して他者の生き方に学ばせる 	
	3 社会の一員としての自覚と責任	① 社会生活上のルールやモラルの意義について考えさせる ② 正義感や公正さを重んじる心、自律・自制の心などの大切さについて理解させる ③ 社会生活を営む上で必要なマナーやスキルについて体験的に習得させる ④ 自主的、自律的な生き方は、義務や責任と表裏一体のものであり、中学生であっても社会の一員として責任ある行動が求められることを理解させ、その意識の涵養を図る	<ul style="list-style-type: none"> 集団生活におけるルールやマナー 自由と責任及び権利と義務 	<ul style="list-style-type: none"> →学級や学校における生活上の問題、地域における身近な出来事、新聞やビデオ等の資料 →話し合いやディベート →パネルディスカッション 	

活動内容	活動内容の例	活動のねらい	具体的な問題例(題材例)	解決策や指導の方法	指導上の留意点
個人及び社会の一人としての在り方に関すること	4 男女相互の理解と協力	① 男女相互の理解を一層深める ② 人間として互いに協力し合う態度を養う	・男女相互の理解と協力 ・人間の尊重と男女の平等 ・異性交友の望ましい在り方 ・男女共同参画社会と自分の意識	→アンケートやインタビューをもとに話し合う →新聞やテレビ等の資料を基に話し合ったり討論したりする	*「性的な発達への適応」とも関連付け、生徒の発達段階や実態、心身の発育・発達における個人差などにも留意し適時、適切な指導を行う
	5 望ましい人間関係の確立	① 様々な人間関係について振り返らせ、その集団の中の行動の仕方や生き方について考えさせ、望ましく円滑な人間関係の確立に資するようにする ② 人間関係を形成する力や自己表現力、他者への思いやりや正義感、連帯感や協力心などを育む取組を積極的に進めていく	・人間関係づくり ・望ましい人間関係の在り方 ・自己表現とコミュニケーション能力	→ロールプレイングや体験発表を取り入れた話し合い →学級成員等の親睦を深める活動 →体験を通してのコミュニケーション能力の育成	
	6 ボランティア活動の意義の理解	① ボランティア活動の意義を理解させることによってボランティア精神の涵養を図り、自発的な参加への意欲を高める ② ボランティア活動の方法等についての啓発を図る	・社会福祉活動 ・環境保全・保護活動 ・災害救助活動 ・地域のコミュニティづくり ・国際社会への貢献と協力 ・ボランティア活動に携わっている人を招いての講話 ・生徒のボランティア体験談を聞く	→ボランティア活動の様々な場面や実際について紹介 →ボランティア活動の意義の理解を深める →勤労生産・奉仕的活動に参加しての体験発表や話し合い →生徒会活動の一環として行われるボランティア活動の取組を基にした話し合い	*自発性・無償性・公共性・先駆性等のボランティア活動の基本的性格の理解と実践意欲の喚起を促す *学校内や地域等で可能なボランティア活動体験を企画し、ボランティア活動に必要な知識や技能を体験的に学ぶ *学校行事や生徒会行事との関連を図る
しでの在り方・健康や安全に關すること	1 心身ともに健康で安全な生活態度や習慣の形成	① 心の健康を含め自らの健康を維持し、改善することができるように指導・助言する ② 生活行動を見直し、安全に配慮するとともに、危険を予測できる力や的確に行動できる力を高めていく ③ 自然災害等に対する心構えや適切な行動について考える	・心の健康や体力の向上に関する事 ・生活習慣病とその予防 ・食事・運動・休養の効用と余暇の活用 ・喫煙、飲酒、薬物乱用などの害に関する事 ・ストレスへの対処と自己管理 ・生活安全や交通安全に関する事 ・種々の災害時の安全に関する事 ・生命の尊重に関する事 ・環境整備に関する事	→様々な視点に立ってこれらの問題を考え意見を交換できるようなディベートやディスカッション →実践力の育成につながるロールプレイング →事故の発生状況や危険箇所の調査結果をもとにした話し合い →「ひやりとした」といった体験に基づく感想や発表 →安全マップの作成 →実技を通じた学習 →ロールプレイング	*学校教育全体で行われる保健指導や安全指導等との関連を密にする
	2 性的な発達への適応	① 性に対する正しい理解を基盤に、身体的な成熟に伴う性的な発達に対処し、適切な行動がとれるように指導・助言を行う	・思春期の心と体の発育・発達に関する事 ・性情報への対応や性の逸脱行動に関する事 ・友情と恋愛と結婚	→資料等をもとにした話し合いや討論 →専門家の講話を聞く	*自己の行動に責任をもって生きることの大切さや、人間尊重の精神に基づく男女相互の望ましい人間関係の在り方などと結び付けて指導する *率直に意見を言えるとともに、自分の将来と結びつけてしっかりと考えていけるような取組をさせる *保健体育をはじめとした各教科等の学習との関連、学級活動の他の活動との関連を図る *個人差を考慮して取り扱うとともに、家庭教育との関連も図る
	3 学校給食と望ましい食生活の形成	① 望ましい食習慣の形成、食事を通しての好ましい人間関係の育成などをねらいとして、日々の給食の時間における指導との関連を図りながら、心身の健全な発達に資するよう指導する ② 学校給食を実施していない学校においても、望ましい食習慣の形成については健康・安全に関する指導の一環として指導する	・健康と食習慣 ・食事のマナーと楽しさ ・栄養のバランスのとれた食生活	→アンケートや新聞などの資料をもとにした話し合いやディベート	*養護教諭や学校栄養職員などの専門性を生かす *家庭との連携を図る。家庭の中でも話し合えるような題材の設定

活動内容	活動内容の例	活動のねらい	具体的な問題例 (題材例)	解決策や指導の方法	指導上の留意点
学業生活の充実 ・ 将来の生き方と進路の適切な選択に関すること	1 学ぶことの意義の理解	① 学ぶことの意義として、次のようなことに気付くように活動させる ・自身の学習のつまづきを克服したり、自分のよさや得意なことを伸ばしたりするために勉強する ・自己を高め、充実した人生を送るために勉強する ・学ぶことの楽しさやおもしろさに気付いて勉強する ・自分の将来の夢や希望を実現させるために勉強する	・自分のよさや得意なことを伸ばす学習 ・充実した人生と学習 ・学ぶことの楽しさやおもしろさ ・学ぶことと職業	→上級生や卒業生、働きながら学んでいる人、地域の職業人、生涯学習に取り組む保護者などの体験談などを取り入れながら、自分なりの考えをまとめ、発表したり、話し合ったりする	* 日常の学習や選択教科の選択、当面する進路の選択や将来の生き方を考える学習などとの関連を図りながら活動を進める
	2 自主的な学習態度の形成と学校図書館の利用	① 生徒主体の教科等の学習の事後指導として（問題解決型の学習過程を振り返りながら）「自ら学ぶ」ということがどのようなことであるのかを理解させる ②（学習のつまづきの原因やその克服の方法を皆で考え）自分にふさわしい学習の方法を見つけさせる	・自ら学ぶ意義や方法 ・不得意教科の克服 ・自分にふさわしい学習方法 ・自宅学習の内容や方法	→教科担任の教師との連携の下で、生徒が意欲的に、楽しく取り組むことができた教科等の学習などについてその学習過程を振り返りながら、なぜ意欲をもって、楽しく勉強できたのかを話し合う活動 →教科学習等での悩みを率直に出し合い、多くの生徒に共通する悩みあるいは深刻な悩みを学級の問題として受け止め、その解決や、そのために各自ができることなどについて話し合い、実行し、成果を確かめ合う	* 学校図書館等をどのように利用したかを含めてそれまでの学習を振り返らせ、自主的な学習の場、様々な情報が得られる場としての学校図書館の意義や役割に気付かせ、積極的に活用する態度を養わせる
	3 選択教科等の適切な選択	① 各学年で、どのような選択教科が設けられているのか、それらは、それぞれ何時間の学習で、どのような内容の学習を行うのか、どのような選択が可能であるのかなどについて、十分に理解させる ② ①のような活動を踏まえて、生徒が、自分の能力・適性等を伸ばす選択、あるいは自分の興味・関心や将来の希望進路に基づく選択など、様々な選択があることを理解し、自分なりの考え、理由をもって選択教科を選択することができるように指導・援助する	・選択教科の理解と自分にふさわしい選択 ・先輩に学ぶ選択教科の選択	→選択教科をどのような視点で選択したらよいかを話し合ったり、どのような理由で、どのような選択教科を選択しようとしているかを互いに発表し合ったりする	* ガイドンスの機能の充実を図る観点から、学級活動の時間のみならず、選択教科等の時間の一部も充てるなどして十分に時間を確保する * 全教師が協力して、各選択教科の説明会や体験学習、あるいは先輩の経験から選択の在り方を学ぶ会などを計画的に実施する

活動内容	活動内容の例	活動のねらい	具体的な問題例(題材例)	解決策や指導の方法	指導上の留意点
学業生活の充実・将来の生き方と進路の適切な選択に関する主体的な進路の選択と将来設計	4 進路適性の吟味と進路情報の活用	① 多面的に自分自身をみつめ自分を知る ② 友人の理解を通して自分を知る ③ 職業適性などから客観的に自分を知る ④ 自己の個性の理解に基づいて、自分のよさを発揮し、個性を伸ばす進路を探索するために、当面する進路に関する情報を収集し、整理して、自分や友人が活用できる資料としてまとめる	・自分のよさの発見 ・職業と適性 ・生き方を学ぶ ・学ぶ制度と機会・学校調べ	→自分の興味・関心、得意な教科の学習や活動、性格や行動など多面的に自分自身を見つめたり、生徒が互いのよさを見つめ合い、確かめ合ったりする活動 →職業適性検査等を活用して個性を生かす職業について考える活動 →地域の社会人や職業人の講話を聞く活動 →勤労や奉仕の体験を通して生き方や進路の多様性を理解する活動 →上級学校を訪問、見学したり、体験入学をして、その結果をまとめて発表したりする学習	*職業適性を取り上げ、適性と進路との関係について考えさせるに当たっては、進路についての夢や希望を抱き、その実現のための強い意志と努力に優る適性はないという理解が得られるように留意する
	5 望ましい職業観・勤労観の形成	① 職業・勤労に関する実際の体験などを通して、生徒が、働くことの楽しさや厳しさを知り、職業・勤労についての関心を高める ② 職業・勤労の目的や意義について、生計を維持するためばかりではなく、職業を通じて社会の一員としての役割を果たし、自己の能力・適性を発揮しているといった視点から理解することを指導・援助する	・学校行事などとして実施する地域の職業調べや事業所・福祉施設等における勤労体験・介護体験 ・職業人や福祉団体関係者を招いての講話等との関連を図りながら、身近な職業、働く目的と意義、働くことと生きがいなどについて題材化	→事前、事後の指導として、調査、話し合い、感想文の作成、発表	
	6 主体的な進路の選択と将来設計	① 将来の生活における職業人、家庭人、地域社会の一員などとしての役割や活動及びその変化を知り、生徒が将来の生活を具体的に描いてみる ② 将来設計を進路計画として立案する ③ 進路計画の実現を目指して、生徒が、卒業後の進路選択の問題を、自分自身の課題として受け止め、自ら解決するために、(中略)何を知り、どのように考え、いかに行動すべきかなどについて検討する	・人生と生きがい ・30年後の私 ・志望校・希望職業の選択 ・進路の選択と私の悩み	→地域の職業人や福祉団体関係者の講話と感想文の作成や発表、話し合い →ライフプランの作成 →進路計画を立案し、発表する活動 →志望校の選択について選択のためのスキルを学ぶ活動(進学目的の明確化、各学校・学科の特色など目的実現のための選択肢の理解各選択肢で求められる選択の条件や必要な努力についての理解、選択理由の明確化、選択の結果とその受け止め方など)	*進路の選択の指導に当たっては、個別指導としての進路相談を、学級活動における指導との関連を図りながら適切に行うことが大切